

コース9 くらてやま 倉手山

リーダー CL H.T. SL N.M.

実施日 令和5年5月24日(水)

天候 晴れ

グレード B上

参加者 15名(男性6 女性9)

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		6:00	上信観光バス(25人乗り)
高速道路	6:15	6:48	新津IC~荒川胎内IC 利用
道の駅「関川」	7:05	7:20	休憩
梅花皮荘	8:10	8:45	雨の為、軒先で雨具着用及び準備体操
倉手山登山口	8:50	8:55	雨の中登山開始
倉手山中間地点	9:40	9:50	雨やんだので服装調整
倉手山山頂	10:50	11:45	集合写真、昼食
倉手山登山口	13:40	13:50	整理体操
梅花皮荘	13:55	14:55	入浴・着替え
道の駅「関川」	15:30	15:50	休憩及びお土産タイム
高速道路	16:10	16:40	荒川胎内IC~新津IC 利用
秋葉区役所前	17:00		予定より30分早く帰還

山行等概要(幹事のコメント)

- 今日は「飯豊連峰の残雪」見るぞ〜!でバスは出発。
- バスが梅花皮荘に向かうに従い雲行きが怪しくなり雨! 参加者一同顔が曇る(;-;)。
- 梅花皮荘の軒先を借り、雨具着用及び準備体操し雨が止むのを信じてゆっくり登山開始。
- 登り始めから急登続きで参加者から「この坂後どのくらい続くの」の声。「うーん、もう少し続きま〜す」とあいまいな返答で励ます(;-;)。
- 中間地点で雨がやみ雨具を脱ぎ服装調整が出来、また時折木陰から残雪の残る飯豊の山が見え元気が出る。
- 道中思いのほかカタクリ、イワカガミ及びシャクナゲ等々に出会いしばし足を止め眺め癒される。
- 最後の急騰をクリアし残雪を踏みしめ山頂! 参加者から「オー!、素晴らしい!、やった!」の声。
- 飯豊連峰の稜線は雲で隠れて見えないが、残雪とのコントラストが美しく目前に迫り手に届きそうである。





- 残雪の飯豊連峰を「おかずに」たっぷり時間で昼食！
- 下山は少し足元が悪かったが参加者全員「緊張感」を持った行動で無事下山、登り口で「参加、班長及びCLとハイタッチ！」
- 下山後は、梅花皮荘でお風呂をいただき、また「道の駅関川」でお土産タイムと慰安会気分。
- 今回出だしから悪条件ではあったが、SL、班長さん及び参加者の「健脚」のおかげで、「楽しく安全な山行」にすることが出来「感謝・感謝」である。

倉手山登山に参加して

1723 H.K.

前日から新潟は雨模様。週間天気予報は悪くなかったのによほどの雨男がいるに違いない。山形に入り梅花皮荘に向かうに従い雨が強くなり、気が重くなった。止むかもと祈っていたが、さらに強くなる。本当に登るのかな？と思った。

温泉にゆっくり入って、山菜購入ツアーもありなのでは？とブツブツ言いながら体操する。やっぱり登るようだ。



飯豊連峰の絶景を見せてやりたい、ゆっくり登れば登れる。など何回も言われたが、出だしから急登が始まる。最初は、急登と事前に言われていたので騙されたわけではないが、下山の苦手な私は、降りるときの心配が付きまとう。

雨は次第に止み、雨具を脱いだら涼しくなった。暑さではてるより、雨の方が涼しくて良いかもしれない。涼しいので虫もほとんどいない。

イワカガミ、シャクナゲ、ゆずり葉の新芽、特にサラサドウダンの可愛らしさが疲れを癒してくれる。そして、最期の登りとなる。班長 T さんによると以前登った時は残雪を登ったそう、下山がとても怖かったと言っていた。雪を気にしていたのは、そういう事だったのか。今年は、雪が無くて良かった。

10:50 山頂到着。飯豊連峰に重たい雲が掛かり絶景とは言えないが、大きな山肌が雨のおかげではっきりと見える。昼食後は、恒例の記念写真を撮り、下山。



班長 T さんの「木の根に注意して」「岩滑るよ」「ゆっくり降りて」などの細やかな掛け声のおかげで、登りに滑ったところや足が届かず、躊躇した場所もどうにか降りる事ができた。

下山後に梅花皮荘の温泉につかり、足のふくらはぎや足首をほぐしたせいか足の疲れが少し取れたようだ。いつも先輩たちを見ると元気なのが素晴らしい。山を登ることでストレスが解消されるのか？疲労感が見えない。

最後に計画してくれたリーダーさん、班長さん、参加された皆さんのお陰で、無事下山できたことを感謝します。

